

W2-01 当院 ICU における NPPV 中看護の標準化を目指して

医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

安里 し のぶ、内間 幸人、徳森 玲奈、与那嶺 史子、山城 裕子、久場 良也

【はじめに】

NPPV は気管挿管に比べ、患者さんへの身体的な侵襲や精神的負担が少なく、食事や会話ができ、患者の QOL を保つ事が出来る。そのため、患者の苦痛・在院日数の軽減につながる。しかし、当院 ICU ではこれまで、スタッフの知識不足から NPPV に対する苦手意識を持ち NPPV の導入に消極的であった。

そこで、アンケート調査・勉強会を実施し、スタッフの知識・技術向上を図り、ケアにあたるスタッフが異なっても統一した看護を提供出来るよう、チェックリスト・マニュアル作成を行った。

【方 法】

- ①スタッフへのアンケートの実施（勉強会前後）
- ②スタッフ・業者による勉強会の実施
- ③ NPPV 導入時のチェックリスト・マニュアルの作成

【結果及び考察】

アンケート結果から、NPPV 使用時に 17 人中 14 人が「不安がある」と答え、2 人が「少しはある」との結果が出た。NPPV に対する知識や経験不足により、使用する際の不安を抱えていることが分かり、勉強会を行った。勉強会終了後のアンケートでは「不安がある」と答えたのは 18 人中 2 人、「少しはある」と答えたのが 13 人であった。

しかし、勉強会終了後スタッフの中から「適応や導入時の設定変更が不安」、「導入時の声掛けが苦手」との声が聞かれた。実際、勉強会終了後も夜間や呼吸療法士が不在時の導入をためらう姿がみられ、看護師間の知識や経験の違いにより患者に対して統一したケアの提供が出来ていなかった。そこで、NPPV 適応の判断や導入時の設定が行えるようチェックリスト・マニュアルを作成した。マニュアル作成後の評価までは行えていないが、チェックリスト・マニュアルに対する看護師・医師の意見や感想を報告する。